

平成29年 6月  
KJ特殊紙株式会社

## カーボンナノチューブ（CNT）関連の開発品

KJ特殊紙株式会社では、従来、低濃度（5%未満）でしか分散できなかったCNTを、高濃度（6～10%）で低粘度の水系分散液とする独自の技術を持っています。同技術を活用し、CNT分散液「KJカーボン nano リキッド」、同分散液とバインダーと混合した塗料「KJカーボン nano コート」、同塗料をフィルム上に塗工成型したシート「KJカーボン nano シート」を商品化しております。

今回、新たにセラミック紙との複合化による「耐熱面状発熱基材」と、CNT染糸を用いた「フレキシブル織物基材」を開発いたしましたので、以下の通りご案内申し上げます。

### 記

#### 1. 耐熱面状発熱基材

〔構成〕 セラミック繊維紙「コーセラン®」にCNTを塗工した高温耐熱仕様の面状発熱基材

〔特長〕 耐熱性 : 340°Cで連続使用可能

レスポンス : 通電開始から4秒で200°C、50秒で340°Cに昇温。30秒で室温に降温

薄型 : 1mm以下の厚み実現、部材のダウンサイジングに最適

〔想定用途〕 産業用途 : 工場配管加熱用のヒーター、特殊ヒーター等

#### 2. フレキシブル織物状発熱基材

〔構成〕 CNTを担持させた染糸を織り込んだフレキシブルな織物状発熱基材

〔特長〕 布の風合い : 厚みと柔軟性、触感がよい

耐久性 : 屈曲疲労による断線が発生しにくい

発熱性 : 昇温が早く、織物全体がムラなく発熱

省エネ効果 : ニクロム線ヒーターに比べ電力消費は60%

〔想定用途〕 産業用途 : 融雪マット、着氷・着霜防止用材料、車の座席ヒーター等

生活用途 : 床暖房などの暖房装置部材、寝具、衣料、飲料加熱用ヒーター等

#### **【本件に関するお問い合わせ先】**

KJ特殊紙株式会社 研究開発本部 研究部

〒417-0004 静岡県富士市新橋町7-1 本社富士工場

Tel : 0545-52-4846 E-mail : info@kjsp.co.jp

以上